

回復期リハビリテーション情報

2019/10/1現在

I. 退棟患者数（2019年7月～9月）

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数

69 名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

69 名

③	② 状態患者の内訳	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後 若しくは手術後の状態 又は 義肢装着訓練を要する状態	17 名	24.6%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節 若しくは膝関節の骨折 又は 2肢以上の多発骨折の発症後 又は手術後の状態	47 名	68.1%
3	外科手術 又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後 又は発症後の状態	3 名	4.4%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋 又は靭帯損傷後の状態	0 名	0.0%
5	股関節 又は膝関節の置換術後の状態	2 名	2.9%

II. 実績指数（前月までの6ヶ月間）各年度4月、7月、10月、1月に算出

④ 実績指数（⑥／⑦） 2019年10月

49.36 点

⑤ 実績指数の計算対象とした患者数

120 名

⑥ ⑤の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和

3,592 点

⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和

72.76

$$\text{実績指数} = \frac{\text{⑥ FIM運動項目の得点 退棟時} - \text{入棟時 (対象患者の合計)}}{\text{⑦ 存棟日数} \div \text{入棟時の状態での算定日数上限 (対象患者の合計)}}$$